

(公財)米盛誠心育成会だより 第32号

松方正義没後100年にあたり

理事長 米盛庄一郎



2024年9月26日
松方正義没後100年特別企画展が黎明館にて開催されました。それに合わせて孫の

峰雄さんが来鹿されました。企画展オープンセレモニーの後、武之橋の近くの松方正義像前で記念写真を撮らせていただきました。90歳を超えられて脚は少し弱られていたが、声はお元気で、米盛庄司前理事長との思い出を語られていました。その後、近くの「いちにさん」で会食を関係者で催しました。当財団の銅像建立の感謝の気持ちは幾度とも述べられ、生前元氣な庄司前理事長が訪問した那須野が原の松方別邸での写真を頂き、早速仏前にお供えいたしました。また、その折松方家の家系図を持参されて、幅が5メートルもあり数の多さに圧倒されました。当財団の目的は奨学支援、研究者への助成も記されていますが、郷土の偉人の顕彰も重要な項目です。松方正義など郷土の発展に



前列左から三番目が松方峰雄さん



撮影地：2007.10.24
那須・萬歳閣(松方別邸)

寄与した偉人の顕彰を通じて有用かつ偉大な人材が育成され、地域社会が益々発展することを祈願いたします。

令和5年度奨学生終了式・進路

3月、11名の奨学生が卒業しました。それぞれの進路でなお一層、ご活躍ください。進路先は次のとおりです。

▽進学：鹿児島工業高等専門学校・熊本大学・鹿児島工業専門学校専攻科・鹿児島大学大学院へ
▽就職：(株)イムラ・住友林業ホームエンジニアリング(株)・(株)新生組・JFEシビル(株)・京セラ(株)へ

令和6年度奨学生採用通知書交付式

所属学校等の推薦書及び選考委員による面接の結果、4名が決定され6月15日採用通知書の交付式を行いました。

鹿児島工業専門学校2名、鹿児島大学留学生2名。

米盛理事長から採用決定書の交付と祝辞の後、選考委員の竹元理事からお祝いや励ましの言葉をいただきました。財団発足以来の採用者は、418名になりました。



令和6年度採用の奨学生の皆さん

令和6年度研究助成金目録贈呈式

令和6年度は、新たに次の2つの研究テーマに対して、それぞれ100万円(計200万円)を助成いたしました。

1. 飯笹英一助教(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科)「鹿児島特産シナモンと白麴の抗ストレス・肥満効果の分子基盤解明とヒトでの効果検証」

2. 島元紗希助教(鹿児島大学共同獣医学部)「β₂-アドレナリン受容体を調節する飼料資材の探索」

7月30日(火)に鹿児島大学で行われた目録贈呈式では、米盛庄一郎理事長から「当財団の支援で取組まれた研究が契機となり、この先、さらに高度なレベルに結びつくことを願ってやまない。」と挨拶があり、応対した佐野輝鹿児島大学長からは「長年にわたる助成に心から感謝を申し上げます。この事業が大学としての地域貢献にも大きく繋がるものと期待しており、継続的なご支援をお願いしたい。」との謝辞がありました。

なお、本年度は令和5年度からの継続分の5つの研究テーマに対しても、それぞれ100万円(計500万円)を助成いたしました。



令和6年度研究助成金目録贈呈式

奨学生からの便り(抜粋)

米盛誠心育成会の奨学生となって

鹿児島工業専門学校2年 龍蘭雄平

奨学生に採用して頂き、ありがとうございます。交付式で、この奨学生の制度の経緯や歴史を知り、素晴らしい制度に選ばれとても光栄な気持ちになりました。また、より一層勉学に励み、充実した有意義な学生生活を送りたいと思います。今年、二級建築士の試験を受けるので、合格に向けて精一杯努力し、自分の目指す将来に近づくために頑張ります。

す。来年は、専攻科に進む予定ですが、就職についてもインターンシップなどに参加し、自分の将来についてしっかりと考えていきたいと思っています。奨学生になったことを自覚し、奨学生としてふさわしい行動を心掛けていけるよう努めたいと思います。この度は、奨学生に採用していただき、本当にありがとうございます。

鹿児島工業専門学校2年 森美咲

この度は奨学生に採用していただき、ありがとうございます。採用を経て、生活の中で変わったことがあります。それは、バイトの日数が減ったことと自分の将来について、向き合う時間が多くとれるようになったことです。奨学金は学費にあて、バイト量も減らすことができました。そのため、平日の放課後は学校に残り、不得意な学科の勉強に励んでいます。進路についても、余裕ができたおかげで自分自身のやりたいことや方向性が定まり、来週には就職試験に挑む予定です。2年生という最終学年で、そして就職活動の始まる目まぐるしいこの年に、自分の未来と向き合い取り組めること、時間がしっかりと確保できていること。それは貴財団のご支援あつてのことであり、改めてご厚意に深く感謝申し上げます。まずは、来週の就職試験に向けて励んでまいります。今後とも宜しくお願致します。

鹿児島大学3年 饒水凝(中国江西省)

奨学生に選ばれ、大きな喜びと達成感、感謝の気持ちで溢れました。この機会は学業と人生に新たな道を開くもので、将来への責任感と希望を感じました。経済的な負担が軽減され、学業に専念できる環境が整いました。アルバイトを減らし、勉強や自己啓発に充てられるようになりました。この変化は学業だけでなく、興味や関心を深く追求する機会を増やしてくれました。この機会を通じて得た学びや経験を活かし、社会に貢献できる人材になることを目指すようになりました。そのために必要なスキルや知識を習得することの重要性を実感し、自分の成長に前向きに取り組む姿勢が養われます。また、奨学生としての感謝を忘れずに、常に努力を怠らないこと

を心がけています。この恩恵に報いるためにも、成長を続けると共に、将来的には社会に貢献できる人材となることを目指しています。今、多くの可能性を感じています。この貴重な機会を無駄にせず、夢を実現し、恩返しをすることを誓っています。

鹿児島大学院1年 張俊傑(中国湖北省)

この度は、奨学金をいただき誠にありがとうございます。奨学金により、経済的な負担が軽減し、学業に専念する環境が整い、授業や研究活動に集中できるだけでなく、将来のキャリアプランについても考えることができました。私の目標は、地域社会の発展に貢献することです。調査地の武漢は豊かな自然環境と独特の文化を有していますが、多くの課題も抱えています。特に、農村部の過疎化や高齢化の進行に伴う地域活性化の必要性を感じています。これらの課題に取り組むには、教育を通じて新しい視点や知識を持つ人材の育成が不可欠です。そのために、学びを深め地域社会に還元したいと考えています。奨学金のおかげで授業や研究活動だけでなく、ボランティア活動や地域のイベントにも参加する機会を持って、地元の現状やニーズを理解することができました。学業では、新しい挑戦にも取り組んでいく所存です。また、地域社会に貢献するためのアクションプランの策定も考えています。最後に、貴財団の皆様から感謝申し上げます。いつの日か私も地域社会に貢献できるような存在になりたいと思います。そのため、今後も努力を惜みず、日々の学びと経験を大切にさせていただきます。

継続奨学生からの便り(抜粋)

財団奨学生として一年のはじめに

鹿児島工業高校3年 浜田颯妃

今年一年、私は三つの目標があります。一つ目は、休まず学校に通学することです。昨年一回も休まずに通学したので、今年も就職にもひびいてくるので、元気に通学できるように、生活リズムや、食生活を見直して行きたいです。二つ目は、学校行事を全力で楽しむことです。特に鹿工生として先生方が

一つになり創り上げ、熱い戦いを繰り広げる「大運動会」はとても楽しみます。ほかに、年2回のクラスマッチや工業高校ならではの現場見学会、大運動会の次に盛り上がる「鹿工祭」、多くの行事があります。最後の学校行事、全力で楽しみます。三つ目は、第一志望の就職先に内定を頂くことです。就職試験が近づき、不安や、焦りを感じることはありませんが、落ちついてこなければなりません。親や、担任の先生、進路指導の先生方と相談をし、最終的には第一志望の就職先に内定を頂けるように日々精進して参ります。今年一年、三つの目標を胸に頑張ります。今年度もよろしくお祈りいたします。

◇ 鹿屋工業高校3年 柳川葉那

引き続き奨学生として採用していただきありがとうございます。昨年以上に勉強に励み、資格取得に挑戦したいと思っております。高校生となり、進路を決定する時期になります。私の夢は1級建築士になることです。そのためまずは、設計関係の会社に就職し多くの経験を積みたいと思っております。住宅の設計を考えることが好きなので、長所を活かしながら、設計の仕事に携わりたいです。高校生活が残り一年となりましたが、テストや学校行事にも悔いが残らないようなものにしていきたいと思っております。中間テストに向けて、まずは勉強に取り組み良い結果を出せるように頑張りたいです。これから社会に出ていくために、人とのコミュニケーション能力を高めたり、積極的に行動するなど必要な能力を鍛えていきたいと思っております。

◇ 鹿児島工業高等専門学校5年 緒方怜進

引き続き奨学生として継続していただき誠に感謝しております。資格試験の参考書、受験費、教科書など多くの面で奨学金を充てさせてもらい感謝しております。今年、進路を決める大事な年です。今のところ専攻科への進学を希望していますが、少し不安などころもあります。推薦での入試を希望しており、今は出来ることを頑張っていきたいと考えております。悔いが残らぬようしっかりと自分と向き合い、進路について考えて行きたいと思っております。最近英語の勉強に少しづつ力

を入れていきます。今の世の中、英語で話せるという強みがあればいいなと考えており、TOEICをはじめ、多くの資格や試験を通し、英語力をあげていけたらと思います。数か月前から何かを続けたいと思い筋トレを始めました。筋トレなどの自分の趣味と勉強を上手く両立させながら頑張っていきたいと思っております。今年もよろしくお祈りいたします。

◇ 鹿児島工業高等専門学校5年 原明子

今年度も奨学生として継続となったことに感謝いたします。引き続き奨学生として自覚を持ち生活していきたいです。最終学年の5年生となり、昨年度より授業数も減り卒業研究がメインとなります。私は地盤工学研究室に所属します。土へのたんばく質配合と微生物から土の強度への影響について研究しています。まだ専門について分からないことが多いので、研究を進め理解を深めていきたいです。また、今年度は技術士一次試験と施工管理技士一級の資格試験を受けます。技術士は昨年落ちたので、苦手な科目を重点的に勉強して合格を目指します。在学中に資格を取り、将来に活かしたいです。就職活動については、これからエントリーシートを書きます。クラスでは内定者が既に10名ほどいますが、焦らず着実に進めていきたいと思っております。奨学金はこの一年の予定に沿って、大切に使用していきます。そして今年度も充実した一年を送るとともに、最後の高専生活を楽しんでいきたいです。

◇ 鹿児島大学3年 劉知宇 (中国遼寧省)

貴財団の奨学生になり一年が経ち、努力と充実の一年になりました。大学3年生になり、勉強に対するプレッシャーが倍増しました。授業が以前より専門的になっただけでなく、準備しなければならぬ二つの試験があります。(基礎試験です)その結果、放課後の時間がタイトになりアルバイトと勉強の両立が難しくなりました。それでしばらくアルバイトをやめざるを得ませんでした。そのため奨学生継続の通知を受けたときは本当に嬉しく、心から感謝します。これからの一年間は学業に専念するつもりです。一方、3年生の後期

には希望の研究室を選べるように、より高い成績を追求します。一方、試験対策は真剣に行い、一発合格を目指します。そしてTOEICテストに申し込むつもりです。奨学生として規律のある行動とは何かを考え、勉強にもより力を入れて、よい成績を得られるように地道に頑張っていきたいと思います。最後に貴財団から受けた援助に改めてお礼を申し上げます。宜しくお祈り致します。

◇ 鹿児島大学3年 黄秋実 (中国湖北省)

春の息吹が心地よいこの時期に、学問の道を大きく変えた貴財団の奨学金に深い感謝を捧げたいです。支援により、中国でのフィールドワークを安心して行え、その経験は私の学術旅程において計り知れない価値をもたらしました。過去2年間で、学位課程のすべての単位を修了し、論文を発表し、学会の口頭発表も経験しました。また、フィールドワークから得た豊富なデータは、私の研究にとり貴重な宝物です。今年自らに新たな挑戦を課し、卒業論文の執筆に取り組みます。論文の完成に向け7月までに初稿を書き上げ、10月に提出する予定です。卒業を提出する先輩が多く、教授の負担が増え、十分な指導を受けられないかもしれないという不安もあります。しかし、これまでの経験を活かして困難を乗り越えていく所存です。さらに、今年、結婚しました。夫も日本への移住を計画していて、新しい生活への期待は高まるばかりです。夫のサポートは大きな励みとなるでしょう。この一年は間違いなく厳しいものになるでしょうが、財団からの奨学金、そして家族、指導教授、友人たちの支援に支えられ、前進し続けます。この一年間さらなる成長と成果を目指して頑張ります。

◇ 役員等改選

6月20日(木)開催の定時評議員会において任期満了に伴う役員等の改選が行われ、宇都幸雄評議員、富岡忠勝評議員、庭田清和評議員がご勇退され、新たに、武盛武士氏、月野浩二氏、平原彰子氏が評議員にご就任されました。(他の役員等の皆様方は再任) また、7月30日(火)には、新旧役員合同で、今年没後100周年を迎えた松方正義公の



◇ 県内公立高校へ図書贈呈

今年度は、日本人初の国連難民高等弁務官として、約10年間人道支援の最前線で人の命を護ることに尽力し、その後も人びとが理解し合つて共に生きることの重要性を国際社会に訴え続けた「緒方貞子」の生きざまを記した、中村恵著『難民に希望の光を 真の国際人 緒方貞子の生き方』を県内の公立高校68校に、計153冊を贈呈いたしました。10月21日(月)に県庁で行われた目録贈呈式では、米盛庄二郎理事長から「価値観の多様化やグローバル化が激化するこれからの時代にあつて、本書が、主体的に行動する力や多様な人々と協働する力、また広い視野を持つて自ら未来を切り拓くことの大切さを考える一助となることを期待する。」と挨拶があり、応じた地頭所恵県教育長からは「長年ご厚意に心から感謝申し上げます。ウクライナや中東諸国の紛争で世界状況が大変厳しい中、多くの高校生が本書に触れることで、今後、世界で活躍することに繋がればと願っている。」との謝辞がありました。



◇ 研究助成成果報告会開催

12月2日、令和4年度に助成決定したテーマ4件、①乙丸准教授(鹿児島大学共同獣医学部)の「黒毛和種子牛における血液中の



◇ 事務局から

紙面の記事でも触れましたとおり、本年6月に役員等の改選がありました。ご勇退されましたお三方には、長い間本当にお世話になります心から感謝いたしますとともに、今後ますますのご健勝をお祈り申し上げます。また、新たにご就任されましたお三方、ご再任の皆様方には今後ともよろしくお祈りいたします。

※紙面の都合で奨学生の皆さんからの「たより」は抜粋で掲載しております。ご了承ください。

事務局連絡先

〒890-0014
鹿児島市草牟田2-2-7
米盛誠心育成会事務局 南・水元
☎099-226-0205
E-mail: k-minami@yoneg.net.co.jp

